

ひろさき

編集発行 弘前市市民環境部広報広聴課 No. 118

平成23年
(2011)

1月15日号

特集

■節目の年を祝うカウントダウン

1月1日、ついに弘前城築城400年祭が開幕！12月31日から1月1日の未明にかけて弘前公園本丸を会場にオープニングセレモニーが開催され、関係者や来場者がカウントダウンなどで、節目の年の幕開けを盛大に祝いました。詳細は2・3ページをご覧ください。

弘前城築城 400 年祭

オープニングセレモニー開催 P. 2

●市 政／スポレク施設建設の見直し方針を決定

申告が始まります ほか P. 4

●お知らせ／催し、教室など P. 8

●健 康／健康ですか P. 15



華やかなステージイベントで会場を沸かせた出演者たち。その熱気は寒さを吹き飛ばすほどでした。…①AOMORI 花嵐桜組のよさこい／②紙漣沢地区獅子舞保存会の獅子舞／③山田里千美さんほか3人による津軽三味線演奏／④岩木地区住民によるお山参詣／⑤ト傳流剣術宗家の小山秀弘さん・隆秀さんによるト傳流剣術演武



新たな時代の幕開け 弘前城築城400年祭 スタート!!

去る12月31日の午後11時から1月1日の午前1時にかけて、弘前公園本丸を会場に、弘前城築城400年祭オープニングセレモニーが盛大に開催されました。

日中が大雪だったこともあり、悪天候が心配されましたが、セレモニー開催時間帯は降雪も少なく、400発の花火打ち上げや多彩なイベントが無事に行われました。

節目をみんなで一緒に祝おうと1万3,000人が来場し、会場は寒さを感じさせない熱気に包まれていました。



祝



①下乗橋を渡りきった所から天守までの園路に、キャンドルを設置する子どもたち。②天守が鮮やかな七色の光でライトアップされ、市民参加のキャンドルとのコラボレーションで幻想的な空間を演出しました。



①②葛西憲之市長の合図に合わせて、関係者・来場者が10秒前からカウントダウン。「3・2・1、400年祭開幕です!」掛け声とともに冬の夜空に高々と花火が打ち上げられ、弘前城築城400年の節目を祝いました。

スポレク施設建設の見直し方針を決定

広報ひろさき平成22年7月1日号で、「スポレク施設」Ⅱ（仮称）全天候型生涯スポーツレクリエーション施設の建設について、見直しを行うことをお知らせしましたが、その結果を報告します。

見直し方針

市では、関係団体の意見や、スポレク施設建設見直し市民懇談会から提出された提言書などを参考に、次のとおり見直し方針を決定しました。

見直しの経過

確保、さらには財源などを考慮すると、建設までは相応の時間を要します。

このことから、将来の整備を念頭に置きながら、広く市民が利用できる多目的広場として整備するものです。

【見直しに至った経緯】

堀越地区の市有地（泉野3丁目、面積約1万平方メートル）に計画していたスポレク施設は、地域住民との対話が不足しているとの指摘や、建設に對して反対や疑問の声が多数あり、さらには、平成22年3月の市議会定例会で、建設費の予算を削除する修正案が可決されたことから、スポレク施設の建設計画を一から見直すこととしていたものです。

建物の整備など将来の活用方法については、議会をはじめ、これまでの市民懇談会の提言やさまざまな声を参考に今後検討していきます。

整備に当たっては、施設の性格や必要性の再検討、公共施設としての利用の公平性の

方法を検討するため、関係各部課による庁内検討会議を設置しました。

◆関係団体等からの意見の聞き取り（平成22年7月）：スポレク施設建設計画に対して、賛成または反対を表明している団体など14団体から直接意見を聞いた結果、スポレク施設に賛成が6団体、不要もしくは反対が5団体、その他が3団体でした。

なお、広報紙やホームページを通して、広く市民からも意見を募集しましたが、意見は寄せられませんでした。

◆市民懇談会の設置（平成22年9月）：市民各層の委員16人（公募3人、各種団体10人（まちづくりや地域コミュニティ活動団体、総合型地域スポーツクラブ、小学校PTA、報道関係の代表者）、学識経験者3人（地域社会の研究

「多目的広場」の整備について

多目的広場については、今後整備内容を検討し、平成23年度に整備したいと考えています。その具体的な内容は、広報紙などを通じて市民の皆さんにお知らせします。

■問い合わせ先 保健体育課（岩木庁舎3階、☎82・1643）

提言書（要約）

1. 既存計画について

市の財政事情や既存施設の利用状況等を考慮すると、大型の施設は必要なく、また、この地域にスポレク目的だけの施設を建設することには疑問があることから、既存計画は中止すべきです。

2. 土地の活用方法について

検討の進め方や整備する場合の施設の目的、機能を中心に議論がなされ、意見を集約した提言には至りませんが、発表された主な意見を報告します。

（検討の進め方について）

- ・施設整備の前提として既存施設の有効活用等、運用方法の見直し、改善も必要。
- ・様々な市民の公共施設の利用の公平性を大切に考えるべき。
- ・市民にとって真に必要な施設なのか検討すべき。
- ・住民参加のしくみをつくり、これからの施設整備のモデル事業として実施すべき。

（整備をする場合の施設の目的、機能について）

- ・交流機能とスポーツ機能を併せ持つ施設。
- ・子どもからお年寄りまで幅広く利用でき、かつ地域コミュニティ再生に寄与する施設。
- ・全市を対象とした施設。

3. 当面の取り扱いについて

整備方針を決定するまでに時間を要する場合、土地を未整備状態のまま放置することは、管理上問題があり、また、有効活用を図るべきです。

将来の整備を念頭に置きながらも、なるべく早い時期に、多くの市民がくつろぐことができる空間等として、あまり経費をかけずに整備すべきと考えます。

防火

対策は万全ですか

ガス器具を正しく使用しましょう

年始早々の厳しい冬は、家庭でガスを使用して鍋物などの温かい食事を取ることがとても多くなる季節ですが、ガスは使用方法を間違えると火災につながる危険があります。

次の使用方法を守り、ガスを正しく安全に使用しましょう。

○着火・消火は必ず目で確かめる

○青い炎で使用する：赤い炎は不完全燃焼の可能性がります

○使用中は器具から離れない：目を離したときに、風や煮こぼれで火が消えたり、天ぷら鍋の油に火が着いたりして非常に危険です

○室内でガスを使用するときは換気扇を回し、時々窓を開

けて十分換気する：換気が十分に行われていないと、酸素が不足し、排気ガスが充満して不完全燃焼を引き起こす恐れがあります

【ガス臭いと感じたら！】

○火気は絶対使用しない：換気扇、電気のスイッチには手を触れないでください

○窓を静かに開けて換気する

○ガス栓やメーターガス栓を閉め、取扱店または販売店に連絡する

▽問い合わせ先 消防本部予防課（☎32・5104）

防火対象物（事業所）の使用開始を届け出していますか

建物を事業所など、さまざまな業種で使用する場合は、火災予防条例により、使用する7日前までに、名称・所在・用途・収容人員などの必要事項を記入した「防火対象物使用開始（変更）届出書」を消防機関に届け出なければなりません。

届け出が必要となるのは次の場合などです。

○新築や増築、改築などにより、事業所部分の床面積が50平方メートル以上となる場合

○全部または一部が今までと異なる事業用途に変更となる場合

○事業名称などに変更が生じ

※届出書には、案内図・配置図・平面図などの建築関係図面を添付し、それぞれ2部提出してください。なお、建物の規模などによっては消火器などの消防用設備の設置が必要となります。

使用開始届出書をまだ提出していない事業所は、速やかに届け出るとともに、防火対策は万全かどうか、今一度、冷静な目で見直し、なにか不安な事がありましたら、気兼ねなくご相談ください。

▽問い合わせ先 消防本部予防課（☎32・5104）か最寄りの消防署・分署へ。



文化財防火デー消防訓練～守ろう貴重な文化財～

1月26日は「文化財防火デー」です。大切な文化財を火災などの災害から守るため、次の日程で消防訓練を行います。訓練の際、消防車がサイレンを鳴らして走りますが、火事と間違わないようにご注意ください。

【弘前地域】

▽とき 1月26日（水）午前9時半～

▽ところ 弘前八幡宮（八幡町1丁目）

【岩木地域】

▽とき 1月26日（水）午前10時半～

▽ところ 高照神社（高岡字神馬野）

■問い合わせ先 文化財保護課（岩木庁舎内、☎82・1642）

申告が始まります

～所得税・個人市県民税～

税の申告を忘れずに

平成23年度（平成22年分）の所得税・個人市県民税の申告が始まります。

申告の日程などについては、本紙と同時配布の「平成23年度市民税県民税申告のお知らせ」をご覧ください（申告書は同お知らせの最終ページにあります）。

▽問い合わせ先 市民税課（市役所2階、☎40・7025、40・7026）

弘前税務署からのお知らせ

【所得税・消費税確定申告書作成会場の開設】

弘前税務署では、次の日程で確定申告書作成会場を開設します。

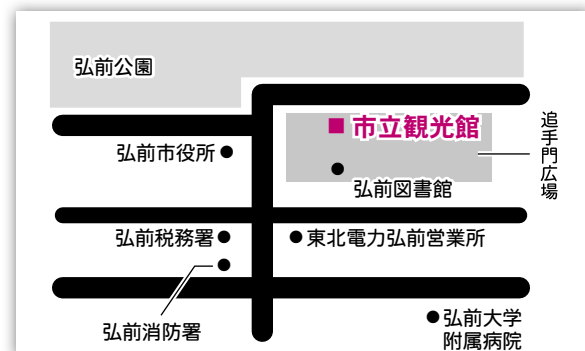
▽とき 2月1日～3月15日（土・日曜日、祝日を除く）

午前9時～午後4時

▽ところ 市立観光館（下白銀町）1階多目的ホール

※下記案内図参照。

ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。なお、市立観光館駐車場を利用しても、無料駐車券の発行はしませんので、ご了承ください。



【インターネットの利用】

弘前税務署では、自宅や事業所からインターネットを利用して申告・申請などができる「e-Tax（国税電子申告・納税システム）」のご利用を勧めています。

e-Taxを利用して所得税の確定申告をした場合、次のようなメリットがあります。

- ホームページから簡単申告
- 国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」から直接送信することにより申告ができます。
- 最高5000円の税額控除

平成19年分～22年分において、いずれか1回に限り、

一定の要件の下、最高5000円の税額控除が受けられます。

- 添付書類の提出が不要
- 医療費の領収書や給与所得の源泉徴収票などは、その書類の提出または提示を省略することができ（記載内容を入力して送信および書類の保管が必要です）。
- 早期還付

e-Taxで申告された還付申告は早期処理しています（3週間程度に短縮）。

【e-Taxで申告する際に必要なもの】

- ①ICカードリーダー
- ②住基カード（電子証明書付き）

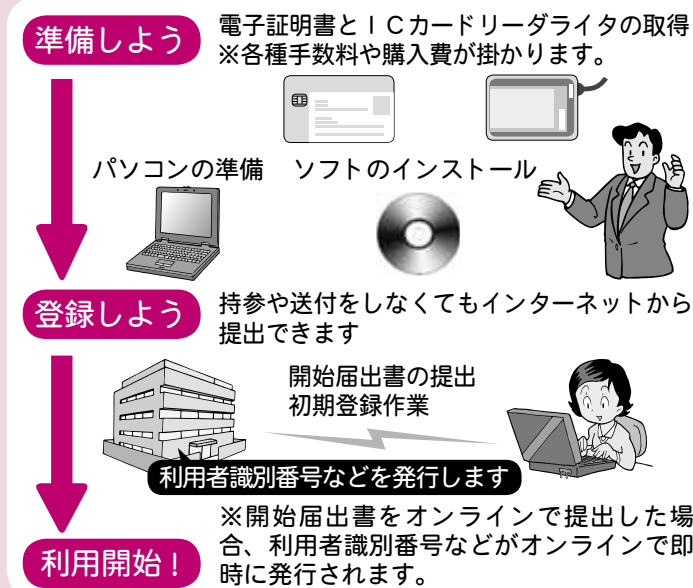
詳しくは、国税庁ホームページ（<http://www.e-tax.nta.go.jp>）をご覧ください。

▽問い合わせ先 弘前税務署 個人課税第一部門（本町、☎32・0331）

※自動音声により案内します。案内に従って番号を選択してください。

e-Taxを始めよう！

～国税庁ホームページの確定申告書等作成コーナーから～

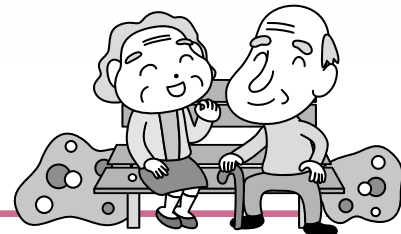


国税庁ホームページ www.nta.go.jp

作成コーナー で 検索

申し込みにより

後期高齢者医療保険料の納付方法が変更できます



申し込みできる人

保険料を特別徴収（年金からの天引き）で納付している人および平成23年4月以降新たに特別徴収になる人は、申し込みにより納付方法を特別徴収から普通徴収（口座振替）に変更することができます。

※平成23年4月以降新たに特別徴収になる人は、主に、平成22年度中に後期高齢者医療制度に加入した人で、特別徴収可能と判断された人です。

手続きの仕方

①口座振替の手続き

市内各金融機関、ゆうちょ銀行での手続きとなります。

▽手続きに必要なもの 預金通帳、通帳の届け出印

※既に後期高齢者医療保険料以外の市税などで口座振替の手続きをしている人でも、新たに手続きが必要です。

変更に伴う注意事項

保険料の納付方法を口座振替に変更した場合、所得税・住民税の社会保険料控除は、口座振替で納付した人に適用されます。これにより、世帯全体の所得税や住民税が減額になる場合があります。

■問い合わせ先 国保年金課 高齢医療係（市役所1階、窓口156、☎40・7046）

後期高齢者医療制度の健康診査

後期高齢者医療制度では、生活習慣病の早期発見や重症化予防を目的に、健康診査を実施しており、対象となる人には「後期高齢者健康診査受診券」を発送しています。本年度の受診券の色は緑です。

本年度の健康診査は、3月15日までの実施となりますので、忘れずに受診してください。

受診券が届いていない場合や紛失した場合は再発行しますので、お知らせください。

▽問い合わせ先 国保年金課高齢医療係（市役所1階、窓口156、☎40・7046）

※詳細については、平成22年度「健康と福祉ごよみ」の28ページ、または「広報ひろさき」4月1日号の23ページをご覧ください。

国保の特定健康診査

市の国保では、昨年5月から特定健康診査を実施しており、対象となる人には「特定健康診査受診券」を4月下旬に発送しています。本年度の受診券の色はオレンジです。

本年度の特定健診は、3月15日までの実施となりますので、忘れずに受診してください。

受診券が届いていない場合や紛失した場合は再発行しますので、お知らせください。

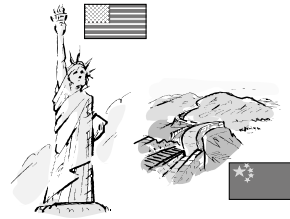
▽問い合わせ先 国保年金課国保運営係（市役所1階、☎35・1116）

※詳細については、平成22年度「健康と福祉ごよみ」の25ページ、または「広報ひろさき」4月1日号の22ページをご覧ください。

外国人留学生から直接聞ける「世界のおはなしパート2」

アメリカ、中国、フランス…いったいどんな人たちが住むどんな国なんだろう？
弘前大学で日本語を学んでいる外国人留学生の皆さんが、日本語で自分の国を市民の皆さんに紹介する、7月に実施したイベントの続編です。
会場内を自由に移動して、いろいろな国のおはなしを聞いたり、日本語で質問したりすることもできます。
お互いにゆっくりおはなしをして、楽しい時間を過ごしてください。

- ▽と き 2月6日(日)、午後1時半～3時半
▽ところ 弘前文化センター(下白銀町)2階中会議室
▽内 容 留学生による出身国の紹介、留学生とのおはなし(どちらも日本語)
▽対 象 各国の留学生とおはなししてみたい人、世界の国々に興味のある人
▽参加料 無 料
※当日の参加も可能ですが、できるだけ事前に申し込んでください。
▽問い合わせ・申込先 中央公民館(☎33・6561、火曜日は休館日)
※本イベントは、弘前大学国際交流センターと中央公民館が協力して実施する国際交流事業です。



- (☎36・7439)
体験版1日ボランティア
ボランティア支援センターでは、ボランティア活動を始めるきっかけとして、1日だけの体験メニューを用意しています。
第6回目は、「弘前市立病院・病院ボランティア体験」です。
▽と き 2月9日(水) 午後1時半～3時半
▽ところ 市立病院(大町3丁目)
※現地集合。
▽内 容 市立病院で行っている、さまざまな病院業務を側面から支援するボランティア活動を体験
▽定 員 10人(応募多数の場合抽選)
▽参加料 無 料
▽問い合わせ・申込先 2月2日までに、ボランティア支援センター(下白銀町、弘前文化センター内、☎38・5595)へ。
※日・火曜日は休館日です。
市長車座ミーティング
市政について、市長と直接お話ししてみませんか。

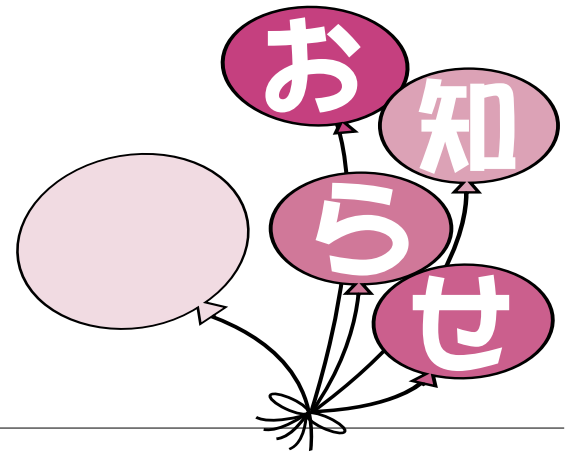
- ▽と き 第7回 2月23日(水)／第8回 3月25日(金)
※時間はいずれも午後2時～3時半。
▽対 象 市内に在住、在勤または在学するおおむね5人～15人の参加が見込まれる団体(営利目的、宗教・思想・政治活動などの目的で開催しようとする団体は除く)
▽申し込み方法 開催希望申込書に、開催を希望する回、テーマや質問、開催場所など所定の事項を記入の上、2月2日までに広報広聴課(市役所2階、窓口258)へ持参するか、郵送またはファクスで申し込んでください。
※開催希望申込書は、広報広聴課に備え付けてあるほか、市のホームページからもダウンロードできます。
▽その他
①申し込み団体が複数の場合は、審査および抽選により開催団体を決定します。
②会場の準備および費用は開催団体が負担してください。
③開催結果は、写真を添えて市のホームページで概要をお知らせします。
▽問い合わせ先 広報広聴課(〒036・8551、上白銀町1の1、☎35・1194、ファクス35・0080)

- バレンタインお菓子作り教室**
心を込めて作ったお菓子を、大切な人に贈りませんか。
▽と き 2月10日(木) 午後7時～9時
▽ところ 勤労青少年ホーム(五十石町)
▽内 容 バレンタインデー向けのお菓子作り(チョコクッキーのミルフィュー仕立て)
※持ち帰りできます。
▽対 象 市内に勤務が居住の働く青少年(おおむね35歳まで)
▽定 員 15人(先着順)
※申込人数が少ない場合は、開催しないこともあります。
▽参加料 1000円(材料費として)
▽持ち物 エプロン、三角きん、ふきん、筆記用具
▽申込先 2月1日までに参加料を添えて、勤労青少年ホーム(☎34・4361)へ。
※材料の準備の都合上、締め切り以降のキャンセルは参加料を返却できません。

教室・講座



- 弘前市役所 ☎35・1111
●岩木庁舎 ☎82・3111
●相馬庁舎 ☎84・2111



冬の屋外レクに参加しませんか

- 学校へ行きたくてもなかなか行けずに、困難を感じている子どもたちと一緒に、屋外でのふれあい体験活動を通して、再登校の支援を行います。
▽と き 2月3日(木) 午前10時～午後3時
▽ところ 総合学習センター(末広4丁目)
▽内 容 雪上レク、雪だるまづくり
▽対 象 不登校、またはその傾向にある児童・生徒(小学校5年生～中学校3年生)、学校適応指導教室通級生
▽定 員 20人程度
▽参加料 無 料
※事前の申し込みは不要。
▽持ち物 冬の屋外活動に適した服装、汗ふきタオル、昼食、飲み物
▽問い合わせ先 学校適応指導教室(総合学習センター内、☎26・4805)
※不登校に関する相談も受け付けしていますので、気軽にご連絡ください。

催し



十三湖と岩木川の生態環境を考える

- 「河川生態学術研究会・岩木川グループ発表会」
岩木川の下流域には、汽水域である十三湖や、広大なヨシ原などの特徴的な河川環境があります。この河川環境は、十三湖のシジミ漁やヨシ刈取りなどの人の営みと深く関係しています。このような岩木川の生態環境を今後も維持していくため、十三湖の環境ヨシ原の形成とその維持、岩木川流域の地形・地質、環境の歴史的变化などの観点から進めている研究の成果を発表します。
▽と き 1月29日(土) 午後1時半～5時40分
▽ところ 弘前大学創立50周年記念会館(文京町)
▽問い合わせ先 国土交通省青森河川国道事務所調査第一課(☎青森017・734・4560、Eメール aomori@thr.mlit.go.jp)
ふれあい高齢者 ニュースポーツ研修会
高齢者向けのニュースポーツで、健康の増進を図ってみ

- ませんか。
▽と き 2月2日～18日
※種目によって開催日と時間が異なります。詳しくはお問い合わせください。
▽ところ すばい弘前(石渡1丁目)
▽種 目 ①ゲートボール ②グラウンドゴルフ ③ペタンク ④マレットゴルフ ⑤ターゲットバードゴルフ
▽対 象 各種目とも、おおむね60歳以上の市民
▽定 員 ① 1・2班各40人／② 1・2班各50人／③ 60人／④ 40人／⑤ 40人
▽参加料 無 料
▽問い合わせ・申込先 1月24日までに、すばい弘前(☎38・3250)へ。
※会場の都合上、申し込み多数の場合は締切日前でも受け付けを終了します。
弘前工業高等学校 定時制工業技術科展
機械電気とインテリアの2コースがある工業技術科の特徴を生かした、卒業制作展も兼ねた作品展です。
▽と き 2月5日・6日の午前10時～午後5時
▽ところ 百石町展示館第1展示室

四ツ屋窯展

- ▽内 容 テーブル、イス、表札、工具箱などの展示
▽その他 創立100周年記念として、アンケートに協力した人を対象に、先着50人に手作りの粗品を差し上げます。
▽問い合わせ先 県立弘前工業高等学校定時制(内山さん、☎32・6241)
りんご公園では、「四ツ屋窯」の山本有生さんの協力で、うわ薬にりんごの木を灰を用いて、木炭にりんごの木を使う、りんごにこだわった陶器作品の展示を行っています。また、開催期間中はおひなさまの制作体験ができます。
【四ツ屋窯展】
▽と き 2月7日まで 午前9時～午後5時
▽入場料 無 料
【おひなさま制作体験】
▽と き 2月7日まで、平日 要予約、土・日曜日 午前10時～午後3時
※引き渡し予定は2月下旬。
▽料 金 1体 11000円(共通事項)
▽ところ りんご公園(清水富田字寺沢)「りんごの家」
▽問い合わせ先 りんご公園

ふれあい高齢者 ペタンク親善大会

冬期間の健康保持と参加者の親善を深めることを目的に開催します。初心者も大歓迎ですので、ぜひ参加を。

▽とき 2月19日(土)

午前9時～午後2時半

▽ところ 克雪トレーニングセンター(豊田2丁目)

▽対象 おおむね60歳以上の市民

▽参加料 一人1000円(昼食代を含む)

※当日受付で納入してください。

▽問い合わせ・申込先 2月2日までに、市社会福祉協議会(☎33・1161)、または市ペタンク協会(秋庭さん、☎34・9548)へ。

三省地区交流 センターの教室

【ヨガ教室】

気分爽快(そうかい)！コロナとカラダをリフレッシュしませんか。

▽とき 2月6日・13日・20日(計3回)、午後1時半～2時半

▽ところ 三省地区交流センター(三世寺字鳴瀬)

▽内容 初心者向けヨガ

▽定員 20人(先着順)

▽参加料 無料

▽持ち物 バスタオルまたはヨガマット(持っている人)、タオル、動きやすい服装

▽問い合わせ・申込先 1月19日から、三省地区交流センター(☎95・3760)へ。

※月曜日は休館日です。

第22回市民 ボウリング教室

▽とき 2月6日・11日

午前10時～正午

※午前9時半集合。

▽ところ アサヒボウル(土手町)

▽講師 奈良国雄さん(プロボウラー)

▽対象 初・中級の市民

▽参加料 1500円

▽申込先 2月2日までに参加料を添えて、アサヒボウル(☎35・0363)かVボウルカフェ弘前(☎27・4145)のフロントへ。

▽問い合わせ先 各ボウリング場か弘前市ボウリング協会事務局(対馬さん、☎33・2423)へ。

裾野地区体育文化交流 センターの教室

【太巻き寿しづくり】

▽とき 2月6日(日)

午前10時～正午

▽内容 初心者向けの簡単太巻き寿しづくり

▽定員 10人(先着順)

▽材料費 500円

※当日持参してください。

▽持ち物 巻きす、エプロン、三角きん、ふきん

▽申込期限 1月30日(日)

【親子クッキング】

▽とき 2月13日(日)

午前10時～正午

▽内容 バレンタインチョコづくり

▽定員 小学生の親子10組(先着順)

▽材料費 1000円

※当日持参してください。

▽持ち物 エプロン、三角き

ん、ふきん

▽申込期限 2月6日(日)

【共通事項】

▽ところ 裾野地区体育文化交流センター(十面沢字轡)

▽問い合わせ・申込先 裾野地区体育文化交流センター(☎99・7072)

※月曜日は休館日です。

環境整備センターの教室

【エコ・クッキング教室】

エネルギーを節約し、時間を短縮しながら料理を作る教室に参加してみませんか。

▽とき 2月5日(土)

午前10時～午後1時

▽メニュー 簡単ハヤシライ

ス、白菜とりんごのサラダ

▽定員 20人

※親子での参加もできます。

▽参加料 中学生以上1400円/小学生1200円/小学生未満1000円

※材料費として当日徴収します。

▽持ち物 皿2枚、スプーン、はし、ふきん、エプロン、バ

ンダナ、自分用の飲み物、メモを取りたい人は筆記用具

【布ぞうり作り教室】

家庭にある使い古しのタオルや手ぬぐいを使って布ぞうりを作ります。

平成22年度 ボランティア講座

日常生活やボランティア活動中に起こり得る緊急時の、正しい知識と技術を身に付けることを目的に、救命講習を行います。

▽とき 2月26日(土)

午後1時～4時15分

▽ところ 弘前市社会福祉センター(宮園2丁目)

▽内容 心肺蘇生法、自動体外式除細動器(AED)の使用

方法

▽対象 ボランティア活動

をしている人、本講座に興味

や関心のある人

▽参加料 無料

▽申し込み方法 2月18日ま

でに、電話または「参加申込書」に必要事項を記入の上、直接持参するか、郵送または

ファクスで、弘前市ボランテ

ィアセンター(☎036・806

3、宮園2丁目8の1、弘前

市社会福祉協議会内、ファク

ス33・1163)へ。

※申込書は弘前市ボランテ

ィアセンターに備え付けてあり

ます。

▽問い合わせ先 弘前市ボラ

ンティアセンター(☎33・2

039)

市民ボランティア によるパソコン講座

学ぶ市民のためのパソコン講座です。

【インターネット・メール入門講座】

▽とき 2月10日・17日の

午前10時～午後1時45分(希

望者のみ、復習・質問時間1

午後1時45分～2時45分)

▽ところ 総合学習センター

(末広4丁目)

▽内容 インターネット・メールなど

職業訓練の受講者募集

雇用保険を受給できない離職者を対象に、再就職のための職業訓練を実施します。

なお、一定の要件を満たした受講者には、訓練期間中の生活保障として、訓練・生活支援給付金が支給されます。

▽とき 3月4日～5月31

日、午前9時半～午後4時20

分

▽ところ パソコンスクール

I・M・S(土手町)

▽内容 企業の事務担当者

として必要な基礎知識および

技能の習得/パソコンの基本

操作やITに関する知識の習

得

▽定員 20人

※申し込み多数の場合は選考となります。また、応募者が少ない場合は中止することがあります。

▽受講料 無料

※別途テキスト代6510円

が必要。

▽申し込み方法 2月4日ま

でに、弘前公共職業安定所(南

富田町)へ。

▽問い合わせ先 弘前公共職

業安定所(☎38・8609)

/パソコンスクールI・M・

S(☎32・5801)

青森県情報セキュリティ コミュニティセンター 第9回セミナー



青森県警察本部では、コンピュータ、インターネットを悪用したサイバー犯罪の被害防止と、パソコンのセキュリティ対策向上のためのセミナーを開催します。

▽とき 2月2日(水)
午後1時半～4時半

▽ところ 弘前文化センター(下白銀町)2階中会議室

▽内容 講師および青森県警察本部サイバー犯罪対策室員による講演

▽対象 インターネットと情報セキュリティに関心のある人=80人(先着順)

▽参加料 無料

※申込書は県警ホームページ(<http://www.police.pref.aomori.jp/seianbu/hoan/hitech/seminar9.html>)からダウンロードできます。

▽問い合わせ・申込先 県警察本部保安課サイバー犯罪対策室(☎青森017・723・4211、内線3493、ファクス017・776・1497)

ベテランズセミナー

▽とき 2月17日(木)

午前10時～正午

▽ところ 弘前文化センター

(下白銀町)2階中会議室

▽内容 「人生80年時代の人生設計」：講師・高瀬睦子さん(野村證券ファイナンシャルアドバイザー)

▽対象 市内在住の60歳以上の人

▽受講料 無料

▽問い合わせ・申込先 電話

で、中央公民館(☎33・65

61)へ。

※火曜日は休館日です。

国際理解講座「聞いてみよう 毎日のこと」

詳しく知る機会の少ないインドネシアとバングラデシュ。それぞれの国の毎日の暮らしをのぞいてみませんか。外国

▽対象 文字入力およびキーボード・マウスの操作ができる市民130人

▽参加料 無料

▽持ち物 筆記用具、昼食

▽受け付け開始 1月18日、午前8時半

※定員になり次第締め切り。

電話でも受け付けます。

▽問い合わせ・申込先 学習情報館(総合学習センター内、☎26・4800)

国理解講座「聞いてみよう 毎日のこと」

詳しく知る機会の少ないインドネシアとバングラデシュ。それぞれの国の毎日の暮らしをのぞいてみませんか。外国

人講師が写真などを紹介しながら、日本語でお話しします。

▽日程と内容

①2月18日(金) Ⅱ「インド

ネシアの毎日」：講師・ダニエルワムブラウさん(弘前大

学留学生)

②2月23日(水) Ⅱ「バング

ラデシュの毎日」：講師・パウルシャマルクマルさん(弘

前大学留学生)

※①②ともに時間は午後7時

～9時。

▽ところ 弘前文化センター

(下白銀町)2階和室

▽定員 各50人

▽受講料 無料

▽問い合わせ・申込先 中央

公民館(☎33・6561)

※火曜日は休館日です。

そうまロマントピアスキー場のナイタースキー教室

▽とき 3月2日までの毎週水・土曜日、午後6時半～8時
※受け付け・クラス分けは、午後6時～6時半。
▽ところ そうまロマントピアスキー場（水木在家字桜井）
▽参加料 1回500円（リフト代、保険料などを含む）
▽申し込み 開催日に現地で受け付けます。
▽問い合わせ先 そうまロマントピアスキー場（☎84・2020）



世論調査の実施

「Smile 弘前子育てマスタープラン策定に当たって」

市では、安心して子どもを産み、元気に育てることができ、子どもたちの笑顔があふれる弘前の実現に向け、「Smile 弘前子育てマスタープラン」を策定することになりました。

このプランを策定するに当たり、子育て世帯の皆さんが抱えている課題や問題、ニーズを把握するためアンケートを実施します。

アンケートは、約2000人の市民を対象に、1月中旬から2月上旬にかけて行います。対象世帯には調査員が訪問しますので、ご協力をお願いいたします。

▽問い合わせ先 広報広聴課 統計係（☎40・7016）

その他

市民課駅前分室をご利用ください

市民課駅前分室を土手町分庁舎に移設し、1年が経過しました。本庁舎と比べると込み合うことが少なく、待ち時間も短いので大変便利です。ぜひご利用ください。

▽時間 午前8時半～午後5時15分（土・日曜日、祝日、年末年始を除く）

▽場所 土手町分庁舎（旧第一大成小学校）1階

▽問い合わせ先 市民課駅前分室（☎31・0260）

※アイデアポストも設置していますのでご利用ください。

小型除雪機による事故を防ごう

毎年、雪のシーズンになると、除雪機による事故が多発します。除雪機を使うときは、次の点に注意しましょう。

○作業を行う前に、必ず取扱説明書をよく読み、正しい使い方を理解しましょう。

○雪詰まりを取り除くとき

は、必ずエンジンを停止し、回転部（オーガ、プロワ）が完全に停止してから雪かき棒を使って行いましょう。

○回転部に近づくときは、必ずエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから作業を行いましょう。

○発進時は転倒したり、挟まれたりしないよう、足元や後方の障害物には十分注意しましょう。

○除雪作業中は、雪を飛ばす方向に人や車、建物がないことを確認しましょう。また、除雪機の周りには絶対に人を近づけないようにしましょう。

▽問い合わせ先 除雪機安全協議会（日本農業機械工業会内、☎東京03・3433・0415、ホームページ <http://www.jfma.or.jp>）

夜間・休日納税相談のご利用を

収納課では、日中や平日に納税相談ができない人のために、夜間・休日納税相談日を設けています。

納期限までに納付できない事情がある人は、未納のままにせず、ぜひ相談においでください。また、この日は電話

出してください。

▽試験日 3月2日（水）

▽試験科目 面接、作文

▽問い合わせ先 県立弘前高等技術専門校（☎32・6805）／弘前公共職業安定所（☎38・8609）

文化グループ会員募集

中央公民館（下白銀町、弘前文化センター内）で活動している文化グループ「手編みの会」では、会員を募集しています。

毛糸に自分の創造力をぶつけ、世界にたった1枚のセーターを編みたいと思う人は、どなたでも歓迎します。

▽活動日 毎月3回（水曜日）、午前9時15分～11時45分

▽ところ 弘前文化センター

▽内容 かぎ針・棒針を使ったセーター作り

▽定員 3人

▽会費 月額1700円

▽問い合わせ・申込先 中央公民館（☎33・6561）

※火曜日は休館日です。

個別労働紛争解決制度

個々の労働者と事業主の間の解雇、配置転換、賃下げな

地方自治法施行60周年 500円記念貨幣の引き換え

三内丸山遺跡と土偶がデザインされている本県の500円記念貨幣の引き換えが、1月19日から、金融機関窓口で始まります。なお窓口では、愛知県・佐賀県の記念貨幣の引き換えもできます。

詳しくは財務省ホームページ（<http://www.mof.go.jp/jouhou/sonota/kokko/kk221201.htm>）をご覧ください。

▽問い合わせ先 ☎ハローダイヤル050・5548・8686（受付時間は土・日曜日、祝日を含む午前8時～午後9時）

※1月20日からは、青森県立美術館（青森市安田字近野、☎青森017・783・3000）での引き換えや、釣り銭による配布が行われます。

での相談や、市税などの納付もできます。

▽夜間納税相談 1月17日～21日の午後5時15分～7時半

▽休日納税相談 1月23日の午前9時～午後4時

※毎月第4日曜日は休日納税相談日です。

▽問い合わせ・受付場所 収納課（市役所2階、窓口205、☎40・7032、40・7033）

平成23年度県立弘前高等技術専門校学生募集

県立弘前高等技術専門校で

は、次のとおり学生を募集します。

▽募集する科と定員 造園科 15人／配管科 20人

▽訓練期間 4月～平成24年3月（1年間）

▽応募資格 職業に必要な技能と知識を習得したい人

▽応募方法 2月23日までに、雇用保険加入（受給）および訓練手当受給見込みの人は弘前公共職業安定所（南富田町）へ、それ以外の人は弘前公共職業安定所に相談の上、県立弘前高等技術専門校（緑ヶ丘1丁目）へ願書を提

ど労働関係のあらゆる紛争を対象に、次の制度を無料で利用できます。

○総合労働相談コーナーでの情報提供・相談

○青森労働局長による助言・指導

○青森紛争調整委員会によるあっせん

▽問い合わせ先 青森労働局総務部企画室（☎青森017・734・4212、ホームページ <http://www.aomori.plb.go.jp/seido/seido01.htm>）

／弘前総合労働相談コーナー（南富田町、弘前労働基準監督署内、☎33・6411）

平成23年度国有林モニターを募集

東北森林管理局では、国有林の管理・経営に皆さんの意見を役立てていくため、モニターを募集しています。

▽募集人員 数十人程度

▽募集締切 1月30日（日）

▽任期 4月～平成24年3月

▽内容 アンケートへの回答、国有林モニター会議への出席など

※応募資格・方法など詳しくはお問い合わせください。

▽問い合わせ先 東北森林管

理局国有林モニター係（☎秋田018・836・2274、ホームページ <http://www.rinya.naff.go.jp/tohoku/>）

特定（産業別）最低賃金の改正

青森県特定（産業別）最低賃金は、次の業種の労働者と使用者に対し、平成22年12月21日から適用されています。

▽業種 鉄鋼業 767円／電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業 702円

／各種商品小売業 695円／自動車小売業 733円

※金額はいずれも時間額で、4業種とも18歳未満または65歳以上の人は、軽易な業務に従事する人、雇入れ後一定期間（業種により異なります）未満の技能習得中の人は除く。

なお、県内で働くすべての労働者に適用される青森県最低賃金は、平成22年10月29日から時間額645円に改正されています。

▽問い合わせ先 青森労働局賃金室（☎青森017・734・4114、ホームページ <http://www.aomori.plb.go.jp/>）／弘前労働基準監督署（☎33・6411）

第30回小中美術展

弘前地区の小・中学生の図工、美術の優秀作品を集めた作品展を開催します。日ごろの学習成果をご覧ください。

▽とき 2月11日～14日の午前9時～午後5時
※14日は午後3時まで。

▽ところ 弘前文化センター（下白銀町）

▽内容 描画、版画、立体作品、工芸、デザイン
※2月11日の午後1時から、同所で造形ワークショップ（弘前城築城400年記念オリジナルかぶと制作を予定）を開催します。

▽入場料 無料

▽問い合わせ先 造形教育調査研究委員会（第一中学校内、佐々木さん、☎32・3949）

自動車の不具合情報をお寄せください

国土交通省では、迅速なりコールの実施やリコール隠しなどを防止するため、「自動車不具合情報ホットライン」を通じて、自動車に発生した不具合情報を収集しています。自動車に不具合が発生した場合、情報をお寄せください。

○フリーダイヤル：0120・744・960（月～金曜日、午前9時半～正午、午後1時～5時半）

○自動音声受付：03・3580・4434（年中無休、24時間）

○ホームページ受付：www.mil.go.jp/RJ/

▽問い合わせ先 東北運輸局運輸支局検査整備部門（☎青森017・739・1506）

多重債務相談会

昨年の6月18日に「改正貸金業法」が完全施行され、借入額が年収の3分の1を超えている人は、新たに貸し付けを受けることができなくなるなど、ローンやキャッシングの利用方法が変わりました。

これを受けて市では、利用方法の変更により、返済が困難になった多重債務者が債務を整理して生活再建に向かうための手助けとして、弁護士による多重債務相談会を開催します。

創業・起業支援制度
合同説明・相談会

「創業・起業したいが、どのような支援制度があるのか」といった意見に応え、関係機関が一堂に集まり、創業・起業支援制度についての合同説明・相談会を開催します。

創業・起業について興味や関心のある人や検討している人、創業・起業して間もない人など、気軽に参加してください。

▽とき 1月26日（水）

▽ところ 弘前商工会議所（上鞆師町）201・202室

▽内容 個別相談会：午後3時～5時、午後6時～7時／支援制度説明会：午後5時～6時

▽参加機関 21あおり産業総合支援センター、弘前商工会議所、県商工会連合会、県中小企業団体中央会、雇用・能力開発機構青森センター、日本政策金融公庫、青森労働局、NPO推進青森会議、弘前市、県立図書館、県経営支援課

▽参加料 無料

▽申し込み方法 1月20日までに、県ホームページに掲載している申込用紙に必要事項を記入し、ファクスかメールで申し込んでください。

▽問い合わせ・申込先 青森県商工労働部経営支援課ベンチャー・コミュニティ支援グループ（☎青森017・734・9374、ファクス017・734・8107、Eメール keiei@pref.aomori.jp、ホームページ http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/shoko/keiei/shienseisetsunekai.html）

有料広告

有料広告

健康ですか

弘前市保健センター
（野田2丁目）
☎37・3750

年に一度は検診を受けましょう

健康相談

「生活習慣病の予防」「禁煙したい」「健診結果を詳しく知りたい」「健診受診後の生活について」など、健康や栄養に関して保健師や栄養士が無料で相談に応じています。

マタニティ歯科健康診査

▽とき 2月18日（金）午後0時半～3時

▽受付 正午～午後0時半

▽ところ 弘前市保健センター

▽内容 妊婦歯科健診／講話／ブラッシング指導／パパママ教室（ママの食生活展示、パパとママの育児体験、赤ちゃんのお風呂実演、ビデオシアターなど）／チャイルドシート説明

▽対象 市内在住で開催日現在妊娠12週～31週（4か月～8か月）の人とその家族40人（先着順）

▽参加料 無料

▽持ち物 母子健康手帳

▽申込先 1月18日から、弘前市保健センターへ。

市民公開講演会

「子宮癌の最近の話題」

子宮頸がんは子宮内膜がんについて紹介するとともに、ワクチンによる子宮頸がん予防の現状と展望についてお話しします。

▽とき 1月22日（土）午後6時～7時半

▽ところ 中三弘前店（土手町）8階多目的ホール「スペースアストロ」

▽内容 講演「子宮癌って2種類あるの？」：講師・渡辺純さん（弘前大学大学院保健学研究科教授）

▽対象 市民

▽参加料 無料

▽問い合わせ先 弘前大学保健学研究科総務グループ（☎39・5905）

認知症の人を抱える

家族の「つどい」

▽とき 1月23日（日）午後1時～3時

▽ところ 弘前市社会福祉センター（宮園2丁目）

▽内容 認知症、介護についての話し合い

▽参加料 無料

※事前の申し込みは不要。当日直接会場へ。

こころの健康相談

弘前市保健センターでは、本人や家族の心の悩みについて、保健師が面接して相談に応じています。秘密は厳守します。希望する人は事前に電話で申し込みを。相談は無料です。

▽2月の相談日

2月＝8日（火）・22日（火）

※時間はいずれも午前9時～午後3時半。

▽ところ 弘前市保健センター（野田2丁目）

▽対象 市民

※「こころの病気」の治療をしていない人を優先します。現在治療している人は、まず主治医に相談を。

▽予約受付時間 午前8時半～午後5時（土・日曜日、祝日を除く）

▽問い合わせ・予約先 弘前市保健センター（☎37・3750）

第9回

鳴海病院健康講座

▽とき 1月29日（土）午後2時～4時

▽ところ 弘前商工会議所（上鞆師町）2階大ホール

▽対象 市民

▽参加料 無料

▽問い合わせ先 あおもりPET画像診断センター（品川町、☎32・5210）

日直接会場へ。

▽問い合わせ先 認知症の人と家族の会（世話人・中畑さん、☎兼ファクス44・4959）

※問い合わせは、午後6時過ぎにお願いします。

▽内容 講演「知る！見る！触る！フットケア」：講師・野田浩さん（鳴海病院血管内治療部長）／講演「肝炎・肝硬変・肝臓がんのはなし」：講師・淀野啓さん（鳴海病院院長）／講演「神の治療」：切らない手術（IVR）：講師・吉岡哲也さん（鳴海病院放射線科）



3月12日・13日開催!!

第25回岩木山スキーマラソン大会 ファイナル

「走れ! さわやか津軽の大地」をスローガンに、スキーマラソンと歩くスキーの大会が行われます。種目は 32km ~ 5 km、リレーカーニバルの 6 種目 19 クラス。みんなで北の大地を駆け抜けよう!

▽と き 3月12日(土)・13日(日)

▽ところ スタート・ゴール=岩木青少年スポーツセンター(常盤野字湯段階)特設会場

▽参加料

○スキーマラソン 高校・一般= 3,000 円/小・中学生= 2,000 円

○歩くスキー 一律 2,000 円

○リレーカーニバル(1 チームにつき) 一律 3,000 円

▽申し込み方法 所定の申込書に必要事項を記入し、参加料を添えて郵便局で申し込んでください。

※申込書は事務局のほか、市役所、各出張所、各体育施設に配置。

▽締め切り 1月31日(月)必着

▽問い合わせ先 岩木山スキーマラソン大会事務局(岩木庁舎、保健体育課内、☎ 82・5702、ファクス 82・5711)

岩木文化センター自主事業開館10周年記念

しゅ しゅ XUXU with 木村将之 ウィンターコンサート

女性アカペラカルテットとベース奏者の競演による、子どもから大人まで楽しめるファミリーコンサートです。

▽と き 2月13日(日)、午後1時半~3時

※開場は午後1時。

▽ところ 岩木文化センター「あそべる」(賀田1丁目)ホール

▽演 目 銀座カンカン娘、サザエさん、唱歌メドレー、心に響く命の讃歌「MOTHER」、応援ソング「弘

前りんごの歌」など

▽入場料

○高校生以上= 1,000 円(前売り券)

※当日券は 1,200 円。

○3歳以上中学生以下= 500 円(前売り・当日券とも)

▽入場券取扱所 弘前中三、さくら野弘前店、メディアイン城東店、メディアイン樹木店、日弘楽器、紀伊國屋書店、弘大生協、中央公民館岩木館

▽その他 希望者には無料で託児所を用意します(事前の申し込みが必要)。
▽問い合わせ先 岩木文化センター自主事業実行委員会(賀田1丁目、中央公民館岩木館内、☎ 82・3214、ファクス 82・3426)



人の動き



Population

・人 口 (前月比)

183,445 人 (- 63)

・世帯数

70,327 世帯 (+ 61)

平成22年12月1日現在(推計)

※平成22年国勢調査要計速報値

平成22年11月末集計を基礎に算出

男女別の内訳は公表されていません

市のテレビ番組 スポット弘前くらしと話題

弘前城築城400年祭開幕

弘前城築城400年祭オープニングセレモニーの様子や今年行われる主なイベントなどを紹介します。

○放送日 1月26日(水)、午後3時54分~4時9分

○放送局 青森朝日放送(A B A)

有料広告

有料広告